

保護者のかたへ

登園見合せと「登園届」提出のお願い

保育園では感染症のひろがりからお子さんを守るため「学校保健安全法による出席停止」を準用しています。下記の疾患にかかった場合、それぞれ特定の期間は、登園を見合せていただき、家庭内での保育をお願いいたします。また、これらの疾患が疑われる場合は、医師の診断を受けてください。登園される場合は、医師の許可を得たうえで、「登園届」の提出をお願いします。「登園届」は伝染病の流行状況だけでなく、一人ひとりの園児の健康状態を知るうえでも必要ですので、宜しくご協力をお願いいたします。

第1種: ペストなど入院治療が必要な重い病気です。

第2種:

| 病名              | 学校における出席停止期間                                |
|-----------------|---|
| インフルエンザ         | 発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで               |
| 百日咳             | 特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで     |
| 麻疹(はしか)         | 解熱した後3日を経過するまで                              |
| 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) | 耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで |
| 風疹(三日はしか)       | 発疹が消失するまで                                   |
| 水痘(水ぼうそう)       | すべての発疹がかさぶたになるまで                            |
| 咽頭結膜熱(プール熱)     | 主要症状が消退したのち2日を経過するまで                        |
| 新型コロナウイルス感染症    | 発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで            |
| 結核              | 感染のおそれなくなるまで                                |
| 髄膜炎菌性髄膜炎        | 症状により学校医等において感染のおそれがないと認めるまで                |

第3種:

|             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 腸管出血性大腸菌感染症 | 感染のおそれなくなるまで。無症状排菌者は登園可 |
| 流行性角結膜炎     | 感染のおそれなくなるまで            |
| 急性出血性結膜炎    | 感染のおそれなくなるまで            |
| その他 *       | 医師が登園しても差し支えないと認めるまで    |

\* その他の疾患例: 溶連菌感染症・ウイルス肝炎・伝染性紅斑(りんご病)・手足口病・ヘルパンギーナ・感染性胃腸炎(流行性嘔吐下痢症)・マイコプラズマ肺炎・ヘルペス性歯肉口内炎など。

なお、アタマジラミ・伝染性膿痂疹(とびひ)などは原則的には登園見合せの必要はないと考えられますが、集団の年齢構成や疾患の重症度などで、登園を見合せていただく場合もあります。

キリトリ

園長 様

(登園を開始する日) 令和 年 月 日

登 園 届

今回の登園停止について、医師の許可ができましたので、本日から登園いたします。

組 児童氏名 \_\_\_\_\_

病名 \_\_\_\_\_ 診察を受けた医療機関名及び医師名 \_\_\_\_\_

登園停止期間 令和 年 月 日～令和 年 月 日

保護者氏名 \_\_\_\_\_ 印

自署の場合、押印は不要です。